

安曇野市教育委員会だより **ふるさと安曇野**

基本理念 ◇ すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

◇ からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。

駅伝・安曇野市チームの活躍を讃える**- 子どもたちを地域で育てるスポーツ・文化活動の更なる広がりを願って -**

教育長 橋渡 勝也

新年度がスタートしてひと月余り、子どもたちは子ども学芸クラブやスポーツ少年団など学校外での活動にも張り切って挑戦を始めました。指導者や保護者の皆さんには、一人ひとりの個性を大切に、継続的にご支援いただいていることに改めて感謝申し上げます。

このような中、4月25日(土)に第35回県市町村対抗駅伝競走大会と第21回県市町村対抗小学生駅伝競走大会が松本市のやまびこドーム周辺で行われました。小学生チームは、かけっこクラブや陸上競技以外の種目のクラブで活動している子どもたちが、3月の子ども駅伝大会の記録をもとに選考され、練習を重ねてきました。一般の部は、市の予選会を経て選考された社会人と高校生、安曇野アスレチッククラブ(安曇野AC)で活動している中学生で編成された9人の選手がタスキをつなぎました。そして、今回、小学生・一般ともに6位入賞を果たしました。走ることの好きな子どもたちの育成に地道に取り組み、全体が長距離を走る力をつけてきていることにテレビ中継で応援していた私も、頼もしさと誇りを感じました。当日の午後本庁舎で開かれた報告会で選手や関係者の皆さんの日焼けした顔からは、充実感とともに次への目標を見据えた意欲を感じました。

安曇野市では、将来的に、子どもたちがさまざまな分野の地域クラブを選択することができる豊かな学びの環境づくりこそが、名実ともに「地域展開」となると信じて取り組んでいます。そしてこのことは、安曇野市が教育振興基本計画に掲げる「すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野」につながるものと考えています。

(主な議案)

- ・令和8年度の総合教育会議の日程・議題等について(了承)
- ・真々部の諏訪神社本殿、穂高神社の若宮社本殿を市の文化財に指定することについて(了承)
- ・学校運営協議会、その他各審議会等の委員の委嘱・任命について(了承)
- ・小学校の学校給食費を完全無償化する件について(了承)

次回定例会の予定

- ・5月定例会 5月25日(月) 午後1時30分から 市役所本庁舎301会議室
- ・総合教育会議 5月28日(木) 午後1時30分から 南安曇教育文化会館2階会議室

交通安全

実例から考えよう 起こり得る交通事故を防ぐために(1)

<実際の目撃事例>

夕方5時過ぎに自転車通行可の標識のある歩道上を、ヘルメットをかぶって自転車に乗って走ってきた3人の小学生が横断歩道手前で自転車にまたがったまま止まった。それに気づいた自動車の運転手は横断歩道手前で停止した。小学生は、横断歩道上を自転車に乗ったまま走って渡って行った。

(学校教育課交通安全担当者からのコメント)

日が長くなり、学校生活にも慣れた子どもたちは、学校から帰ると自転車で遊びに出かけることが増えてきます。横断歩道では「自転車を押して渡りましょう」と指導を受けていても、早く帰りたい気持ちから、つい自転車に乗ったまま渡ってしまうこともあると思います。横断歩道を自転車に乗ったまま渡ること自体は必ずしも法律上禁止ではありませんが、歩行者の妨げになる場合があります。また、自転車は歩行者より速度が速いため、車の運転者からすると動きが予測しにくいという危険もあります。特に夕方は視認性が落ち始める時間帯であり、事故の危険性が高まります。悲しい事故を起こさない・起きないために、どのような行動が安全につながるのか、子どもたちと一緒に考え、日々の生活の中で実践していきたいものです。

※この内容については、学校への注意喚起として情報提供します。



子育て支援

放課後児童クラブ キャパシティ強化に向けて

小学生の放課後の遊びや生活の場を提供する目的で行っている「放課後児童クラブ」に、近年利用希望者が急増しています。そのため、施設のキャパシティが不足し、いくつかの小学校では利用できない方が発生している状況です。ご迷惑をおかけし申し訳ありません。

この状況を鑑み、令和7年度から豊科南小・豊科北小・穂高南小の各児童クラブ専用施設の新築事業に着手しています。令和10年度から受入できるよう目指していますので、皆様のご理解のほどよろしくお願いいたします。

社会教育

コミュニティスクール事業について

安曇野市ではこれまで、各小中学校に学校運営協議会を設けるとともに、地域と学校の協働活動を進めています。このような学校づくりと、地域づくりを一体的にすすめようというのがコミュニティスクールと呼ばれる取り組みです。

令和4年度からは、5つの地域公民館で定期的に関係者による会議を開催しながら、学校と地域全体で子どもの学びと成長を支える取り組みの充実を目指しています。

具体的な事例  詳細は[こちら](#)

注目のとりぐみ

学校給食

小学校給食費の無償化について

国が進める小学校給食費の抜本的な負担軽減策を受け、国が定める基準額(年額57,200円/人)を超える部分を市が負担(年額14,800円/人)することで、令和8年度から小学校の給食費を完全無償化(市負担総額66,230千円/年)します。また、中学校の給食費は、令和8年度も保護者負担額を据え置き、令和5年度以降の値上がり分については、これまでと同様に市が負担することで、引き続き保護者負担の軽減に努めてまいります。

土の中から出てきた“かけら” — 果たして正体は？

豊科郷土博物館で開催中の春季企画展

「土の中からの贈り物—ココ掘れワンワン」の話です。

実は数年前、我が家の山麓の畑の土の中から茶色の“かけら”が2つ出てきたのです。「これは土器に違いない」「植木鉢かも」と、家族の間で長い間解決しない問題でした。そこで、博物館が開催する小中学生を対象とした鑑定会で見てもらったらどうか、ということになったのです。4月18日(土)当日、小学2年生と母親が「お宝鑑定会」に参加してくれました。注目の鑑定結果は……何と、縄文土器と砂岩でした！教えていただいたことで、今まで単なるモノ

だったものが宝物に変わり、時空を超えた想像の世界が広がり、わくわく

・どきどきが止まりません。博物館が過去・現在・未来の“知りたい”に

こたえてくれる知の館(やかた)であることを再認識しました。

スタッフの皆さん、ありがとうございました。

(ka)

感想やご意見などをお寄せください。

連絡先: 安曇野市教育委員会 教育部 学校教育課 教育総務係

Mail: gakkoukyouiku@city.azumino.co.jp

4 目の悪い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを

